

洛南だより

生徒努力目標

「気づき、考え、行動する。」



京都市立洛南中学校 平成30年1月5日発行 ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/rakunan-c/>

新年

おめでとうございます。



13日間の冬休み、今年は、成年です。成年のお正月は、どうでしたか？ それぞれに有意義な休みを過ごすことができたでしょうか。

さて、正月の《正》という字を、辞書で引くとすると「何という部首」で引くと思いますか？ やさしい字だから改まって引いたことはないかもしれませんね。昔の漢和辞典では、「止」という部首で引きます。

《正》という字は、「一に止まる」と書きます。それでは一とは何でしょうか？

一とは原点、一とは自分のことです。

自分が人間としての原点に止まる、それが正。

自分が自分の原点に立ち帰る、それが正です。

そして、自分が自分の原点に立ち帰る月、それが正月です。

つまり、自分が自分になる月、それが正月なのです。自分が自分になるということは、人間として、本来の自分になることです。



それでは本来の自分とはいったい何でしょうか？

「損得」「勝ち負け」など比べることをやめた自分、それが本来の自分です。

美しいものを見たとき、素直に「わア、キレイ！」と感動し、その美しいものをいつまでも忘れないでいようとする心、それが自分の本来の心です。

感動することに勝ち負けはありません。感動に損得はありません。損得を離れた人間本来の自分に立ち帰る月、それが正月です。

普段の私たちの生活を振り返ると、よく「損得」「勝ち負け」という「人と比べること」にふり回されていませんか。一年に一度、そういう「人と比べること」をやめて、本来の自分に帰ろうというのが正月です。

正月になると、お寺によっては、「修正会（しゅしょうえ）」という行事があります。「修正する会」と書きます。

昨年やってきたことのあやまち、失敗を反省し、同じことをくり返さないように、自分の原点に立ち帰って、自分の生き方の軌道修正をするのです。正月とは、自分のことばかりではなく、「損得」で歪められた自分を軌道修正する月ともいえるのです。

『一年の計は元旦にあり』といいます。自分は何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかを、今一度よく考えて、「今年こそは」と決意を新たにし、自ら決めた目標に向かって、しっかり行動していきましょう。

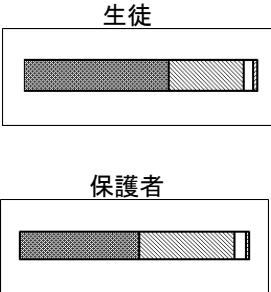
もう授業が始まっています。この時期は3年生にとっては進路決定に向けて、1・2年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、1年間の締めくくりの大変な時期でもあります。3月には誰もが、「いいクラスだったね」「いい学年だったね」と言えるように頑張りましょう。

平成29年度 学校評価アンケート(生徒・保護者 10月)まとめ

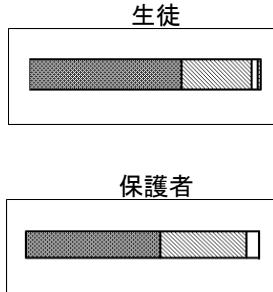
学校は楽しい(1年生)

- 楽しい
- 楽しいほうだ
- どちらかといえば楽しくない
- 楽しくない

29年10月調査



29年6月調査



1年

保護者

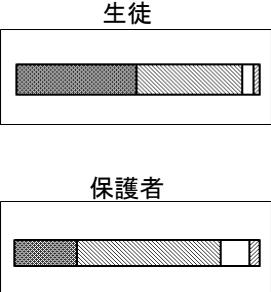
保護者

6月調査とあまり変化はなく、ここ数年で比較すると、今年度は楽しく学校生活を送っていると回答している割合が高くなっています。楽しくないと答えている個々の生徒の思いを十分に聞きながら取り組みたいと思います。

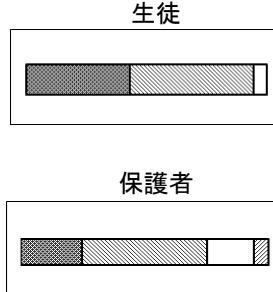
学校生活は充実している(2年生)

- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

29年10月調査



29年6月調査



2年

保護者

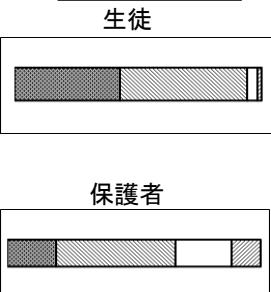
保護者

6月調査と比べると「充実していない」と回答している割合が少し減っています。文化祭などの行事を通して、自分の活躍する場を見つけられたのではないかと思います。一人一人が活躍できる多様な場の設定を大切にしたいと思います。

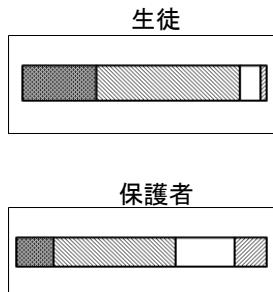
3年生としての自覚を持って行動する(3年生)

- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

29年10月調査



29年6月調査



3年

保護者

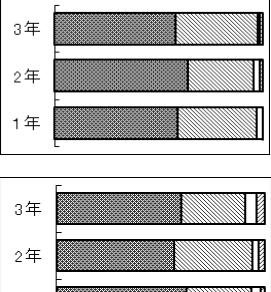
保護者

6月調査と比べると3年生としての自覚が育っているようです。部活動がなくなつてからも行事などのリーダーとして活躍していることが自覚につながっていると考えられます。いつも、生徒と保護者の見方のずれの大きい項目です。

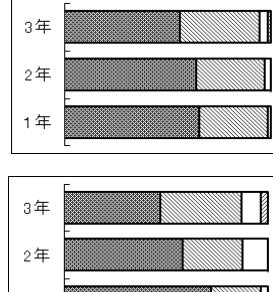
気軽に話ができる友人が学校にいる

- たくさんいる
- いる
- あまりいない
- いない

29年10月調査



29年6月調査



3年

2年

1年

保護者

3年

2年

1年

6月調査と比べると1年生の回答で「たくさんいる」が少し減っています。携帯電話やスマートフォンでのつながりが、必ずしも好ましい人間関係を築くとは限らないということも考慮に入れ、仲間づくりを進めたいと思います。

話をよく聞いてくれる先生がいる

たくさんいる(生徒)

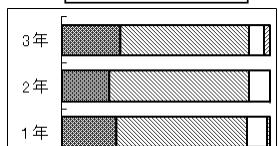
いる

あまりいない

いない

生徒

29年10月調査



29年6月調査



6月調査と比べると若干増える傾向が見られます。教育相談をはじめとしたさまざまな取組を充実させるとともに、学習・進路・行事などに関して、日常の学校生活でのコミュニケーションを大切にていきたいと思います。

家で学習している時間

2時間以上

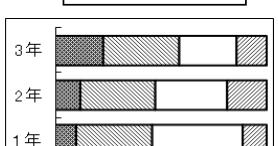
1時間程度

1時間未満

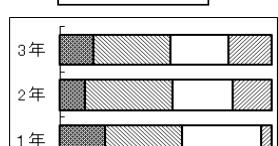
していない

生徒

29年10月調査



29年6月調査



1年生では、中学生生活の慣れからか学習時間が減り、3年生では進路を目前として学習時間が増える傾向があります。今年度の特徴として、「家庭学習課題」の割合が高くなっていることです。家庭学習を進める取組の成果だと思われますので、今後も、学校の取組として進めていきたいと思います。また、課題をやらせ切るだけではなく、自主的な学習に積極的に取り組めるよう、学習の仕方をしっかりと身に付けさせる指導も進めたいと思います。

家庭学習の内容は何か(生徒)

家庭学習課題

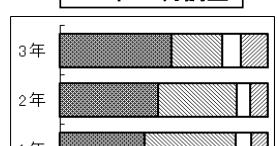
宿題

予習・復習

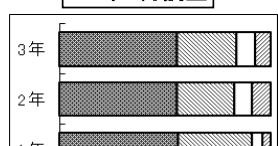
それ以外

生徒

29年10月調査



29年6月調査



学校生活が安定してきた2年生以降で話すようになる傾向にあります。進路については、正しい情報と広い視野を持つことが大切です。1年生から進路について指導していますので、ご家庭でもさまざまな機会に話題にしていただければと思います。

家で将来(進路)について話をする

している

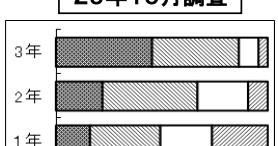
時々している

あまりしていない

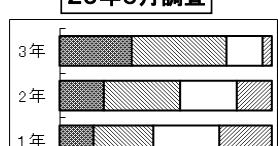
していない

生徒

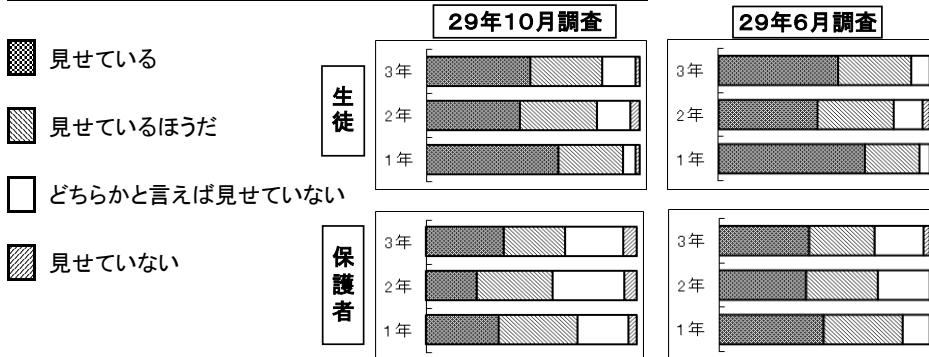
29年10月調査



29年6月調査



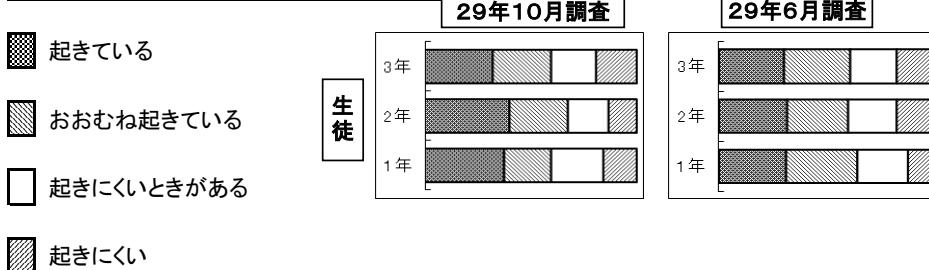
学校からのお知らせプリントを家の人見せている



教材プリントについては、できるだけファイルなどにまとめるよう指導しています。家庭へのお知らせや、案内などのプリントについては、整理して持ち帰らせるよう指導しています。

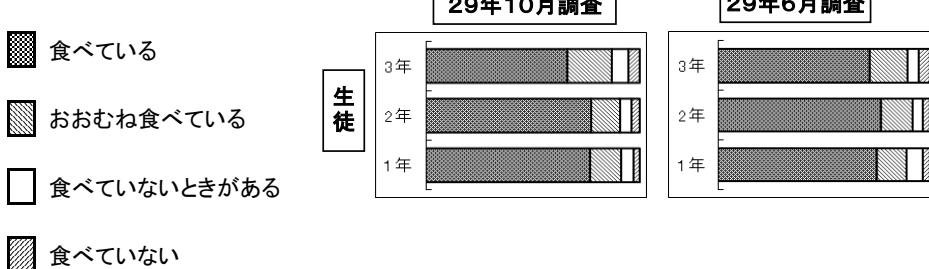
ご家庭でも、持ち物の整理も兼ねて配布物の確認をお願いします。

朝、すっきり起きることができる



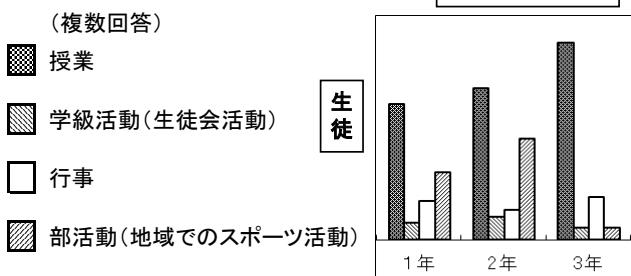
1年生で「起きにくい」生徒が増えています。携帯電話・スマートフォンの利用が、睡眠をはじめ、さまざまな影響を及ぼしているように思われますので、ご家庭でも生活の確認をお願いします。

毎朝食事はきちんと食べている



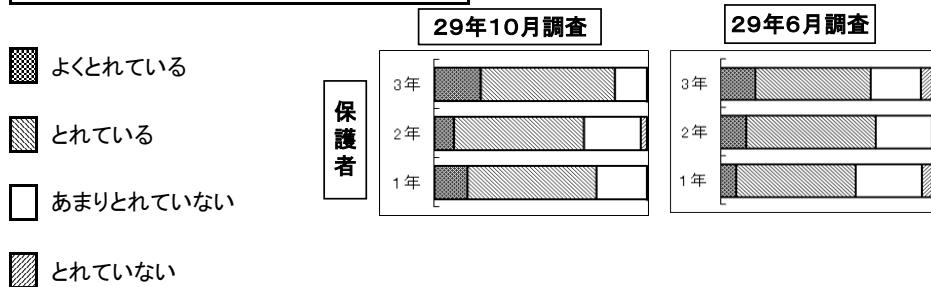
今年も大きな変化は見られません。朝食を食べることで、よい学校生活のスタートを切ることができます。しっかり食べる習慣を身に付けられるよう、ご協力をお願いします。

頑張っていると思う活動は何ですか



例年、10月には「行事」と回答する生徒が増えるのですが、今年は「授業」と回答する割合が高くなっています。学習内容の設問でもありましたが、特に3年生で学習に対する自覚の高まりがうかがえます。「学級活動」や「行事」にも前向きに取り組ませたいと思います。

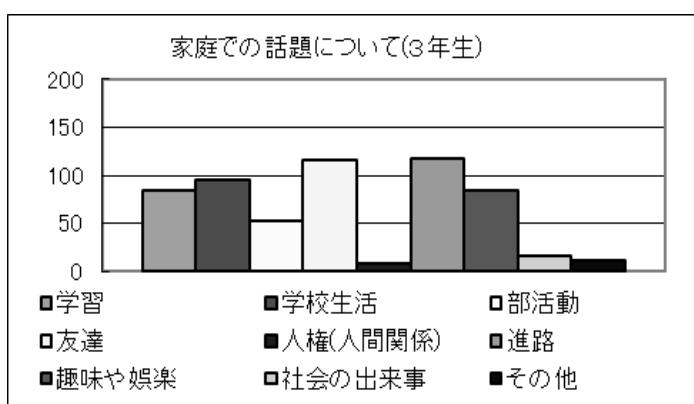
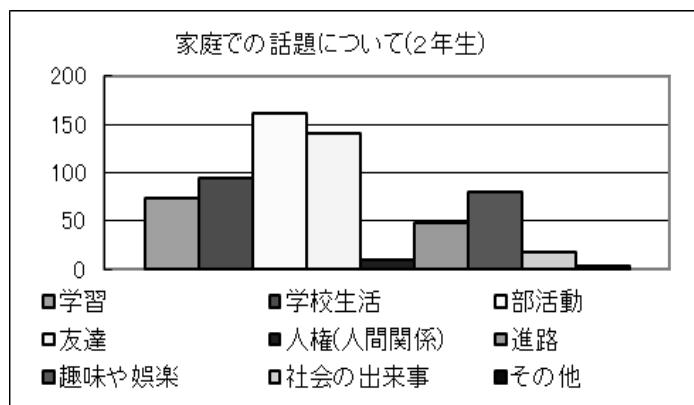
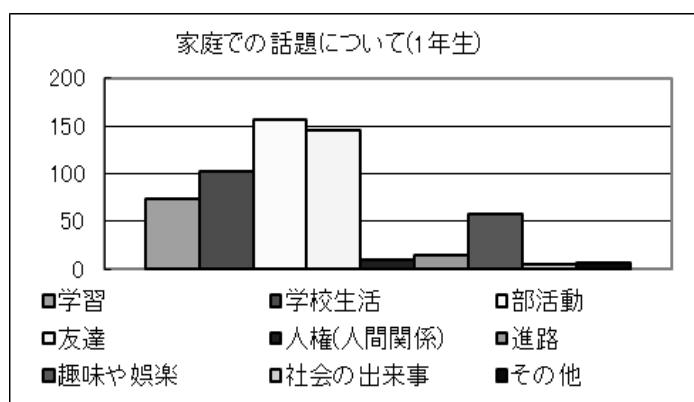
先生とコミュニケーションがとれている



3年生では、進路などの話をする機会も増えています。1・2生では学校生活や家庭でのようすなどについて、さまざまな機会にコミュニケーションをとりたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

家庭での話題について(3つ以内の複数回答)

29年10月調査

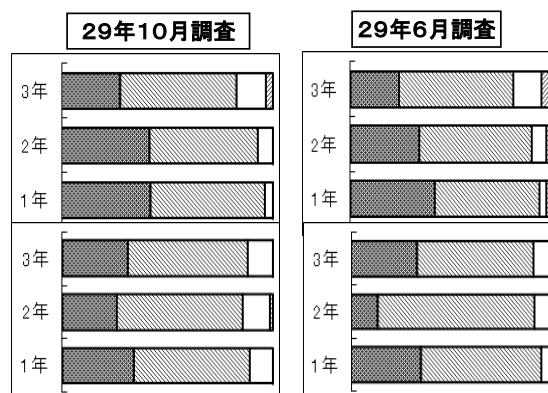


どの学年の傾向も、昨年とほぼ変わらず、「友達」について話題になることが多く、1・2年生では「部活動」、3年生では「進路」について話題になることが多くなる特徴があります。子ども達にとっては、目の前の関心事ですから話題となりやすい内容です。しかし、「学習」や「人間関係」「社会の出来事」についての話題も、展望を持って進路選択をする上で大切です。子ども達の関心の低い話題については、大人のほうから話を投げかけて話題とする必要があるのではないかと思います。

あいさつをしている

- 自らしている
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- ほとんどしていない

生徒
保護者



6月調査とあまり変化はなく、日常的にあいさつをしている生徒が見られる反面「自らしている」生徒がなかなか増えません。

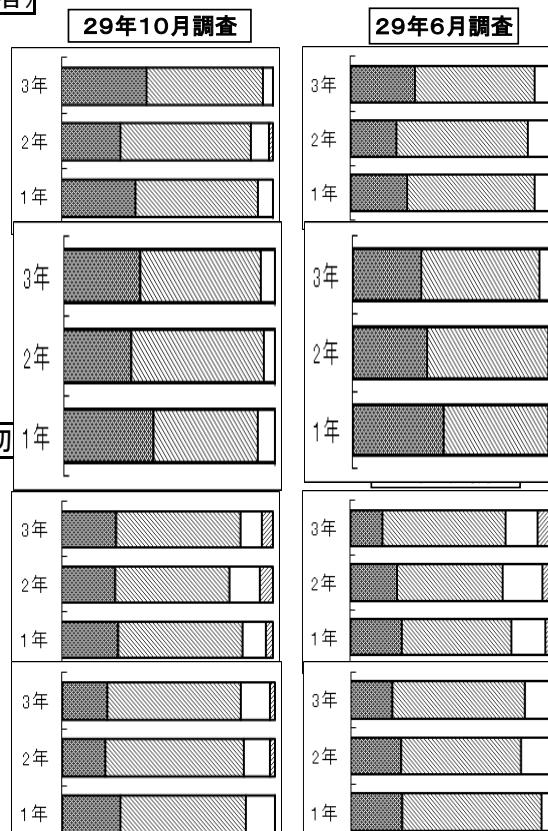
あいさつをすることで他者との関係が深まるだけでなく、自らも一日を積極的に過ごせることの実感を持たせたいと思います。

人の気持ちを考えた言葉かけや行動をしている(生徒)

まわりの人を大切にする(保護者)

- できている(生徒)
- している(保護者)
- できているほうだ
- しているほうだ
- どちらかといえばできていない
- どちらかといえばしていない
- できていない
- していない

生徒
保護者



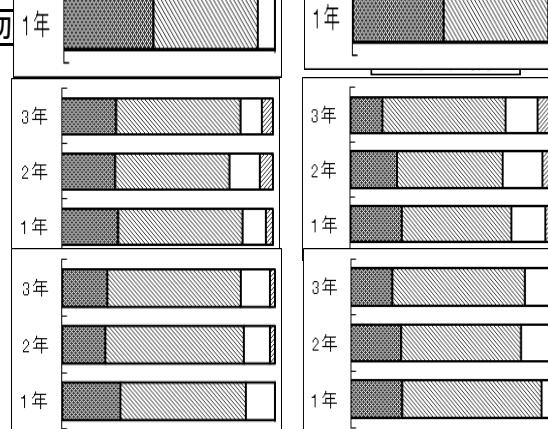
今回は、生徒と保護者の回答に大きな差が見られませんでした。

生徒の回答からは、「できている」が増えてきています。具体的な場面で気づかせることも大事ですので、今後も相手の気持ちを考えた行動をとれるよう指導したいと思います。

自分の良さに気づき自分を大切にする

- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない

生徒
保護者

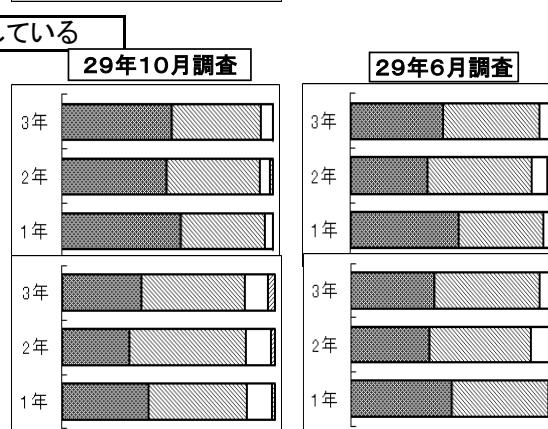


自己を見つめることは難しいですが、周りの人がさまざまな活動の中で、良かったことを伝えることで、自己有用感の高まりにつながるのではないかでしょうか。そのためにも、良さを引き出すコミュニケーションを大切にしたいと思います。

ルールやマナーを守って生活している

- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない

生徒
保護者



6月調査との比較では、保護者の評価に比べて生徒の評価が甘い傾向が見られました。

前回にも記述したように、規範意識は、学力・自己有用感等とも関連しており、ご家庭とも協力して高めていきたいと思います。